

取中 取中の未来 通信



今週は…、暑かったですね。来週からは1学期末三者懇談を実施させていただきます。お忙しい中、貴重なお時間をいただき、また猛暑が予想される中、来校いただきありがとうございます。

さて今週号では、(No.3で少し紹介させていただいた)先日(6月25日)に実施いたしました、校内TM研修の内容を掲載したいと思います。昨年度に引き続き、TM研修は大阪大谷大学特任教授・教職教育センター長の岩井晃子先生に指導助言をいただきます。



<研修の内容>

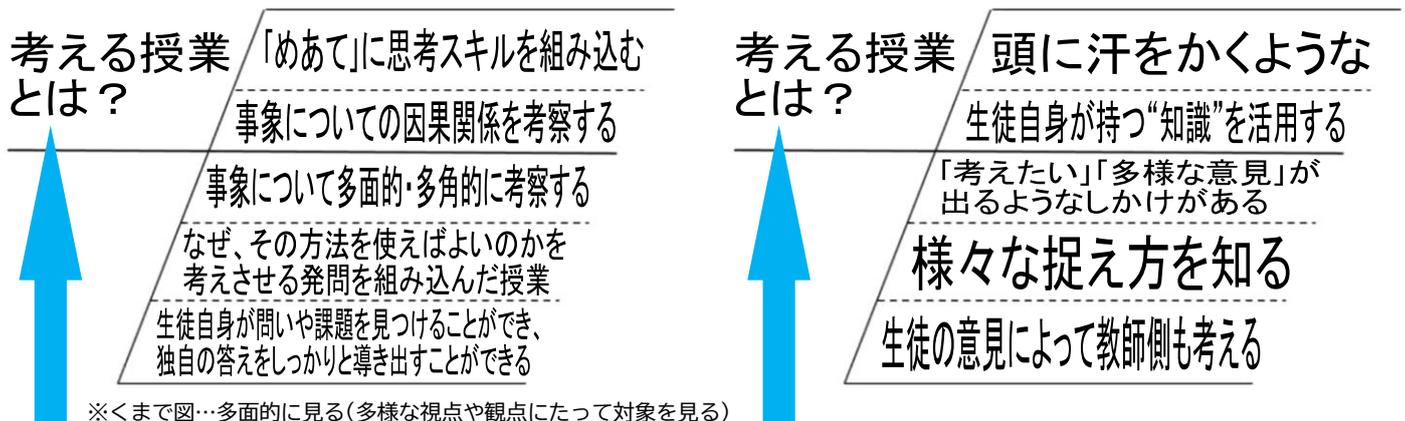
- ① 道徳科の目標を確認し、具体的な授業像をイメージする
 - ② 中学校教材『バスと赤ちゃん』を通しての具体策を考える の2本立てで実施しました。
- ・特に②の研修を通して、生徒が深い学びに導く発問づくり(中心発問)を職員で考えました。

<研修の様子(撮影機器の不具合)と感想を思考ツールの『PMIシート』で一部抜粋>

Plus(良かった点)	Minus(改善点)	Interesting(面白い点)
<ul style="list-style-type: none"> ・とても勉強になった。 ・到達すべき価値から逆算して展開を考えることの大切さを再確認。 ・楽しく道徳を学べた。 ・濃い話し合いをさせる授業をめざしたい。 ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ・「今求められている授業について」考える、教わる必要がある。 ・思考ツールの使用の具体例を出した話が聞きたかった。 ・教師からの“聞き方”をたくさん研究したい。 ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の先生の話し方や考え方を知ることができた。 ・道徳の中心発問を班のメンバーで考える取り組みが楽しかった。 ・考えるには“雰囲気”が大事である。

※PMIシート…評価する(視点や観点をもち、根拠に基づいて対象への意見をもつ)

<TM研修を通じて、先生方の『考える授業』とは何か?をまとめました!『くまで図』で>



- ・教材研究をしっかりと、やってから授業に入る。
 - ・一人一人が自他ともに認め、居場所や仲間をつくっていけるように教師が声をかけ、話をよく聞き、毅然とした態度で指導する⇒学級経営が最も大切。
 - ・各教科においても授業規律を整えるため、生徒理解と授業の充実が必要。
- など考える授業の土台についての
ご意見もありました!

岩井先生のご助言のもと『いい雰囲気』の中で、研究討議ができました。岩井先生、取中の先生方、ありがとうございました!